

お詫びと訂正

本誌 753 号 (2021 年 7 月号), 758 号 (2021 年 12 月号), 760 号 (2022 年 2 月号) に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

2022 年 4 月 27 日 『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

753 号 (2021 年 7 月号)

82 ページ 所報 (2021.3.1 ~ 3.31)

	誤	正
コピーサービス		
学外	8 件 1,707 枚	8 件 1,707 枚
学内	0 件 678 枚	2 件 678 枚

758 号 (2021 年 12 月号)

92 ページ 所報 (2021.8.1 ~ 8.31)

	誤	正
閲覧		
開館日数	17 日	16 日
閲覧者数	10 名	10 名
貸出図書	3 冊	3 冊

760 号 (2022 年 2 月号)

95 ページ 所報 (2021.10.1 ~ 10.31)

	誤	正
閲覧		
開館日数	16 日	21 日
閲覧者数	11 名	7 名
貸出図書	22 冊	18 冊
コピーサービス		
学外	5 件 335 枚	6 件 499 枚
学内	1 件 43 枚	0 件 0 枚

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2021.10.1 ~ 10.31)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』757号(2021年11月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	59	12	71
受 贈	21	12	33
合 計	80	24	104

□閲覧サービス

閲覧

開館日数	16日
閲覧者数	11名
貸出図書	22冊

コピーサービス

学外	5件	335枚
学内	1件	43枚

日 誌

- 1日 事務職員の部分的テレワーク継続(～31日)
- 2日 環境・労働問題研究会(第2期・第1回, オンライン)
- 6日 所員会議(オンライン)
事務会議(オンライン)
- 10日 立教大学共生社会研究センター主催シンポジウム「市民が作る・市民が使うアーカイブズ——アクセスをめぐる課題」(環境アーカイブズ共催, スピーカー:川田)
- 11日 B3書庫所蔵資料除塵作業(埼玉福祉会, ～22日)
貴重書庫再整備関連事業「大内兵衛資料」リハウジング納品(東京修復資料センター, 対応:中村)
- 12日 来所:町田市立国際版画美術館(組合文芸誌撮影のため, 対応:中村)
- 14日 第34回国際労働問題シンポジウム「COVID-19危機からの持続可能な回復と技能開発——

- Reskilling/Upskilling」(オンライン, 接続端末数:94件)
- 16日 社会政策学会第143回大会(オンライン, ～17日, 参加:鈴木玲, 榎, 藤原)
- 18日 社会政策学会第143回大会エクスカージョン「東京電力福島第1原発と廃炉資料館」視察(参加:榎, 藤原)
- 環境アーカイブズ書庫の延べ床面積増強のための地下書架入替作業((株)オカムラ)
- 20日 運営委員会(オンライン)
議題①2022年度の研究所体制について
②研究所叢書について
③「マックス・ヴェーバー没後100年シンポジウム」(12月19日)の大原社会問題研究所の後援について
- 27日 月例研究会(オンライン)
山本唯人「空襲体験記の原稿を読む——『東京大空襲・戦災記』原稿コレクションの整理と分析」
- 29日 貴重書庫中性紙棚納品(資料保存器材)
B3書庫電動書架修理
- 30日 大原社会政策研究会(第87回)(オンライン)
グエン・ヴィエット・ティエップ(東京大学大学院人文社会系研究科修士課程)「ベトナムにおける所得保障制度の設計について——日韓の公的年金の経験は活用できるのか」

大原社会問題研究所雑誌

No.760(2022年2月号)

2022年2月1日発行

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読12,000円(税込)

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話042(783)2305

印刷 株式会社相模プリント

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。

A：投稿原稿（審査用原稿）

B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）

C：表題紙

C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705号、29-43 頁。

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.